

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	RIMOA		
○保護者評価実施期間	2026年2月22日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2026年2月27日		～ 2026年3月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	衛生管理を徹底した心地よい空間を保ち、個別支援計画に基づいた質の高いサポートを着実に実行できていることです。	個別に対応できるクールダウンの場を工夫して設け、必要に応じて保護者様への相談援助も丁寧に実施しています。	子どもにわかりやすい環境の構造化やバリアフリー化を進め、多角的な支援のため他機関との連携を密にしています。
2	お子様の様子をよく見て特性に応じた専門的な支援が行われ、日頃からの密な情報共有でご家庭と連携できている点です。	安全で安心できる環境づくりを徹底し、送迎時や連絡ツールを活用したきめ細やかな情報共有を意識的に行っています。	お子様のリフレッシュのため戸外活動を検討し、保護者様同士の交流機会の企画や相談体制の周知を強化します。
3	個別支援計画に基づいた専門的支援を丁寧に行い、保護者様への共感的な対応で厚い信頼関係を築けている点です。	生活空間の構造化や安全管理を徹底し、送迎時などの短時間も貴重なコミュニケーションの場として活用しています。	ご家族全体の支援(交流会等)を充実させ、相談体制をより分かりやすく強化します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	理想とする職員配置に達しておらず、また個別のクールダウン場所の確保に課題がある点です。	質の高い支援に求められる職員比率を満たせていないことと、施設の物理的な空間に制約があるためです。	職員の充足を図るとともに、クールダウン場所の確保など個別のニーズに対応できる環境整備を進めます。
2	保護者様同士の交流会やきょうだい支援の機会が不足しており、ご家族全体への支援に課題があります。	日々の支援業務を優先するあまり、交流の場の企画・運営や、きょうだい支援への注力が十分に行き届いていません。	保護者様同士、きょうだい同士が気軽に交流できるイベントを企画し、安心感のある交流機会を充実させてまいります。
3	長時間利用のお子様のリフレッシュや地域社会との関わりを深める機会を、より充実させていきたいと考えています。	お子様の安全を最優先する立地と環境のため、短時間での戸外活動や外部との交流を日常的に組み込むことに工夫が必要です。	安全に配慮しつつ、短時間のお散歩や室内での運動遊びを工夫し、お子様が楽しくリフレッシュできる活動を増やしてまいります。